



伊勢崎市立名和小学校 学校通信 第10号 令和5年 7月4日

名和小だより

学校教育目標 よく考え工夫する子 思いやりのある子 がんばりのきく子
(今年度の重点：新しく挑戦・粘り強く挑戦)



ゴールデンエイジと子ども達の体力

全校の児童が新体力テストの計測をしています。毎年結果を全国や県平均と比較をしています。本校の傾向としては、体前屈、反復横跳びが全国平均より高い傾向にあり、ボール投げ、握力が平均より下回っている傾向があります。

小学生のころの体力は、何かの競技を通して高めるよりも遊びを通して色々な運動の感覚をつかんでいく場面が多くあります。特に小学

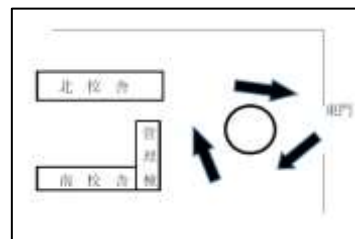
生年代では色々な遊びや運動をすることで体の中の運動神経や調整力など、体を上手に扱うことができるようになります。逆に言えば小学生年代の時にあらゆる運動神経を発達させることができる時期でもあります。この運動神経が一番ググッと伸びる黄金の成長期のことをゴールデンエイジといいます。この時期は「即座の習得」とも言われるほど体の動かし方や、動作、技術を短時間で覚えることができる一生に一度だけの貴重な年代です。ですから、子ども達にはできるだけ運動や遊びを多く経験してもらいたいです。



車での送迎について

梅雨の時期に入り、車での送迎が多く見られますが、できるだけ歩いて登下校するようにしてください。小学生の段階でしっかりと、雨の日の危険について知ることが中学での自転車事故を回避することにつながります。危険回避能力は発達段階に合わせて学習・経験することで徐々に色々な場面での応用力が身に付きます。

尚、理由があって自動車で送迎する際は学校東側の職員室前の駐車場を利用してください。東門より入りロータリーへは右回りで進んでください。公民館につきましては、公民館利用者の駐車場ですのでできるだけ使用はご遠慮ください。



雷・突風・ゲリラ豪雨への注意

先日は、5、6年生の下校の前に雷がなりはじめたため、児童は下校をせず学校待機をし、約30分後に下校をしました。今後も同じように天候の急変等がある際には、児童を待機させることがあります。その際は今回と同様に待機のメールと下校開始のメールを配信します。

下校途中や外で遊んでいるときに天候の急変が起こることもあります。学校でもいざというときの行動について話していますが、各ご家庭でもお子さんと下校途中などの危険箇所や避難場所について具体的に話し合っておいてください。

○天気急変のサイン（積乱雲が近づいてくる）

（積乱雲：雲のてっぺんがもくもくと沸き立ち、カリフラワーのような形をしている）

- ・真っ黒い雲が近づいてくる
- ・雷の音が聞こえてくる
- ・急に冷たい風が吹いてくる

○避難する場所

- ・建物や自動車の中に避難する
- ・木や電柱から離れる





5年 いざ、というときのために

6月23日(金)5,6校時に着衣泳を実施しました。まず始めにビデオ学習です。服を着たままの状態ではどのようなことになりやすいか、また、どのように対処すればよいのか見て学びました。その後は実際のプールで体験です。プールに入ったとたん「重い」「ちくちくする」「ぬげる」など色々な声が上がりました。服を着たま

ま歩くこと、プールサイドに上がること等、何をしても不自由すぎてビックリです。このことを体験できただけでもむやみに動くことが無駄であることに気がつきます。その上で力を抜いていかに上手に浮くか、背浮きをしたり、ペットボトルを利用して浮く体験をしました。まずは、このようなことが実際に起きないようにするための危険を回避する力や判断力を身につけることも大切です。



水泳 強化練習会始まる

6月27日(火)より5,6年生を対象とした水泳強化練習会が始まりました。火・木・金曜日の放課後と夏休みの市水泳教室記録会までの限られた回数の中で実施して行きます。今年は全部で25名の児童が参加しています。参加メンバーはそれぞれの目標を持っており、自分の記録を伸ばしたい人、県大会出場を目指す人、25m泳げるようにしたい人等、みんな強い意志を持って参加をしています。



学校評議員会

6月21日(水)に学校評議員会が開催されました。評議員とは地域の方を学校が推薦し、教育委員会から委嘱された方がなります。評議員の方には定期的に来校していただき、子どもや学校の様子を見て、会議の中で学校経営に関して意見や助言をいただきます。



今回の会議では今年度の学校の方針を説明しその後、意見交換をいたしました。最近教育現場の課題となっている教職員の働き方が話題となりました。名和小の職員も例外なく長時間労働をしている職員がいること、勤務改善をどのように進めているか等意見交換をしました。

